

AKITA JCI NEWS

<http://www.akitajci.jp>

<2007年度スローガン>

Let's55「青年RA SI KU」
～あみらかな風 あきたから～

発行人/編集 文仁 発行所/(社)秋田青年会議所 総務広報委員会
事務局/秋田市山王2-1-54三交ビル3F TEL018-824-7070

No.2-2007

平成19年2月28日発行

新入会員紹介

どうぞ宜しくお願いします!

1・氏名 2・所属委員会 3・生年月日 4・職業/勤務先



1.荒川 祐介(あらかわゆうすけ)

- 2.世代間協働推進委員会
- 3.S54.10.24生れ
- 4.秋田県小児療育事業団



1.菅原 慎次郎(すがわらしんじろう)

- 2.地域連携推進委員会
- 3.S51.11.30生れ
- 4.(株)桜竹 専務取締役



1.伊藤 久嗣(いとうひさし)

- 2.地域連携推進委員会
- 3.S52.12.27生れ
- 4.中央土建(株) 企画営業課長



1.田崎 宏一(たざきこういち)

- 2.人間力推進委員会
- 3.S46.5.12生れ
- 4.ヌーベル工房 酒房 橙家



1.加藤 大亮(かとうだいすけ)

- 2.地域環境委員会
- 3.S46.3.17生れ
- 4.(株)へいあん秋田 主任



1.能登谷 正人(のとやまさと)

- 2.総務広報委員会
- 3.S46.9.8生れ
- 4.(株)能登谷工務所 取締役営業統括



1.桐生 謙吾(きりゅうけんご)

- 2.世代間協働推進委員会
- 3.S48.7.31生れ
- 4.桐生謙吾司法書士事務所



1.芳賀 洋介(はがようすけ)

- 2.55周年運営委員会
- 3.S50.6.11生れ
- 4.レッドハウス



1.児玉 大祐(こだまだいすけ)

- 2.制度改革対応委員会
- 3.S50.4.26生れ
- 4.旭写真



1.丸野内 真理子(まるのうちまりこ)

- 2.会員拡大会議
- 3.S53.11.15生れ
- 4.(有)丸ノ内サービス

面接式について

3月28日(水)秋田キャッスルホテルにて 18時半より2007年度上期仮会員面接式及び名刺交換会を開催いたします。是非多くのメンバーにご出席

いただき、交流を深めてください。

秋田JCへの入会案内→

詳しくは
WEBで!

※秋田JCホームページにてメンバーが毎週持ち回りしているいろいろな話題を提供しているコーナー、「今週の秋田JC便り」も是非ご覧ください!

3月例会開催のご案内

“知らなかった”では済まされない、企業経営者に求められる2つのチカラとは・・・

今、社会そしてビジネスにおいて、最も重要で求められているもの。それは、わずか2つの能力“コミュニケーション力”と“マーケティング力”だと言われています。私たち経営力向上委員会では、より実際の企業経営そして生活の中でも“使える”ことに絞り込むことにいたしました。それが私たち委員会の目的だからです。

今回、私たち経営力向上委員会が担当させていただく3月例会は、経営力を高めるために必要な能力の一つである、“コミュニケーション力”をテーマに、企業リーダーの質の向上を目的とする講師例会を開催いたします。

お話をいただく内容は、講師の著書である「上司になったら覚える魔法の言葉」の内容がベースとなります。富山JC・岡崎JC・亀岡JCでもご講演いただいた秋田先生のお話を聴いて求められる経営者となりましょう！

コミュニケーションとは、相手が存在して初めて成立するものです。私たちは、いつも自分以外の誰かと接しています。家族、社員、お客様、友人、そしてJCメンバー・・・その人があなたのいちばん大切な人かも知れません。自分の言うべきことを相手に理解できるように伝える、相手の言いたいことや行動を理解していることを伝え

る、そうして相手にも自分にも満足できる関係をつくる。それが企業家の責任であり、そのためのコミュニケーション力だ、と考えます。

経営者や経営幹部である会員はもちろんのこと、皆さんの企業で今後幹部に育てていきたい管理職クラスの方、または幹部ではあるがもっと成長して欲しい、と思われる社員の方にも役立つ、すぐに使えるテクニックなどご紹介させていただきます。何名でも構いません。秋田JCメンバーのみならず、あなたの大切な社員とご一緒にお申し込みください。

3月13日(火) 18:30より
秋田キャッスルホテルにて開催

講師：株式会社エ・ム・ズ

代表取締役 秋田 稲美(あきたいねみ) 様

略歴：1967年愛知県生まれ。短大卒業後、大手生命保険会社に入社し、21歳で年収1000万円のトップセールスになる。その後、結婚を機に退社。専業主婦を経て2000年、パソコン講師・指導を主な業務とする有限会社エムズコンピュータを創業。創業2年目、主婦を中心とした女性スタッフ70名で1億2000万円の研修売上を上げる。2004年、事業内容をコーチング研修とファシリテーター養成を柱とする人材開発事業にシフトし、エ・ム・ズに社名変更して株式会社化。取締役4人を含めスタッフは全員女性。名古屋と東京にオフィスを構える。

主な著書：「上司になったら覚える魔法のことば きわめつけの一言コーチング」(中経出版) / 「メンターに出会えば道は開ける あなたの人生を成功に導いてくれる人」(中経出版) / 「ドリームマップ 子供の生きる力をはぐくむコーチング」(大和田出版) / 「3年後になりたい自分になれるドリームマップ」(大和田出版)

「人間力開発プログラム作成に関する意見交換会」のお知らせ

来る3月9日(金) 19時より、秋田県青少年交流センター(ユースパル)において、「人間力開発プログラム作成に関する意見交換会」を開催します。

本年度、人間力推進委員会では、人と人との関わりあいの中から、小学生に「ふれ愛」「認め愛」「助け愛」の三愛精神を育み、いのちの尊さを考えられるような人間力開発プログラムを作成・展開していきます。

今回の意見交換会では、より良いプログラム作成のため、

由利本荘市教育委員会、秋田市立旭北小学校、秋田大学教育文化学部附属小学校から教育現場におられる先生方を、そして子育て支援活動をされている若松亜紀さん、2005年に秋田県初の親業訓練インストラクター資格を取得された鈴木聡子さんを民間からお招きしてご意見をいただく予定です。活発な意見交換会と致しますので、ご期待ください。

人間力推進委員会 委員長：金子敬司

2月例会を振り返って



去る2月14日、秋田ビューホテルに於いて2月例会を開催致しました。「地域と連携した環境教育の進め方」というテーマのもと、秋田市環境部環境企画課環境活動担当主事の鈴木(すずき)直(すなお)様、東北電力株式会社秋田営業所総務課長の高橋(たかはし)一美(ひとみ)様、秋田森の会風のハーモニー 代表幹事の佐藤(さとう)清太郎(せいたろう)様の御三方をパネリストにお招きしてパネルディスカッションを行いました。

パネリストのみなさまのそれぞれの団体や会では、既に地域や他の団体と連携して環境問題に取り組もうとする人材の育成をしておられ、素晴らしい事業に感銘を受けました。また、実際に環境問題に取り組む活動や、自然と触れ合う「体験」が効果的な環境教育になるというパネリストのみなさまのお話をお聞きし、環境教育についての活動の大きなヒントをいただいたと感じました。

今後のオープン委員会や事業を環境教育の活動に繋げていくために、このパネルディスカッションで頂戴した様々なご意見やご提案を活かしていきたいと思っております。

地域環境委員会 委員 中村 淳



特集：マスコミに伺いました

第2回

時事通信社 支局長

森 賢 様

(もり さとし)

国安： 国安：どうぞ宜しくお願いいたします。早速ですが、JCという組織はご存知でしたか？

支局長： はい。仕事柄商工会議所とか青年会議所といった団体は常に懇意にさせていただいています。この職業は2~3年で転勤してしまうのですが、最初にJCの事業を知ったのは20代の横浜でした。その後岡山でご紹介いただいたのが岡山JCで、確か「桃太郎まつり」というイベントに参加したり、当時の理事長とカラオケでデュエットしたりと一緒に飲んで楽しく過ごした思い出が残っていますね。自分自身が35~40歳の時だったし、一番長い赴任期間だったので印象が強いかもしれません。

国安： それは楽しそうですね。やはり同年代だと話も合いますものね。

支局長： そうなんです。阪神大震災のちょっと前くらいでしたから、当時の経済界の若者と交流ができ、非常に有意義な時代でした。

国安： では、秋田JCとの関わりはいつ頃からになりますか？

支局長： ええ、私の赴任が今年の春でして、早速懇談会のお誘いを受けたんです。でも例の藤里事件の最中で・・・。当時は支局長会議の幹事をやっていた全く動けなかったんです。ご挨拶がずいぶん遅れてしまいましたが、今年の新年例会が初参加となりました。実はこちらからも直前理事長の渡部さんには講演会のご案内を差し上げたりして、JCとちょっと懇意になりたいなあ〜と常々思っているんです。

国安： そういえば時事通信社さんで、日本JCの「We Believe」の印刷を担当していらっしゃるんですよね。御社の中ではJCは結構有名な団体に入らんでしょうか。

支局長： ええ、まあそうですね。JC機関誌の編集や印刷を出版局でやらせていただいているのですが、この仕事を取ったときは全国的に情報が流れまして、おそらくうちの会社の人間ならJCさんを知らない者はいないんじゃないかな。

国安： すばらしいですね。「JC？あまりよく知らない」って言われることが多くて、ちょっと残念に思っていたんです。

支局長： う〜ん。確かにロータリーや商工会議所では親父さんの世代に押さえつけられちゃうから、二世三世の方々は羽を伸ばして自由に好き勝手やりたいよっていう「お楽しみクラブ」的な見方をしている人（イメージを持っている人）は多いでしょうね（笑）私は真面目に取り組んでいる方がいることも重々承知しているんですが、「にちゃんねる」とか見るといろいろな書き込みがあったりしますからね〜。一人が万事ではないのですが、経営者は良い行いよりも悪い行いの方が目立つんですよ。



国安： 難しいですよね。アピールが足りないんでしょうか。私たちの団体をもう少し広く宣伝するために何かいい知恵はありませんか。

支局長： そうですね。割とJCって独自色を出したいって思う部分ありますよね。県内にある何個かのJCさんもそうです。それはそれとして、全県あるいは全国的に縦断的にリレーするような事業があってもいいんじゃないでしょうか。例えば「全国縦断お祭り巡り」とか。毎月違うJCからの情報提供があれば、見る側も「ああ、この間北海道でやってたやつ、今度は東北なんだ」とJCの認識は格段に上がるはずですよ。順番に発信する情報だから季節外れでも構わないと思いますし。

国安： なるほど！自分たちが「うちはこれ！」とやるだけじゃなくて、横の繋がりを持って一つの事業を作り上げるんですね。

支局長： そうそう、その際に近隣のJCを招待してもいいし、協力して何かやってもいい。そうすることで地域の連帯も生まれてくるし、事業全体の規模が大きくなる。マスコミが一番気にするのは「全国区の記事なの？」という部分だし、一番弱い言葉は「日本で初めて（唯一）」なんですよ。

国安： そうか！事業規模が大きければマスコミにしても魅力ですよね。秋田の事業だけでは食いつきが弱いかもしれませんね。

支局長： リリース（エサ）を投げ込んで、取材（獲物）を待つのではなく、いい意味で利用してほしいですね。ただ、記者クラブにいる記者って年齢的に若いんです。地方の記者クラブからランクアップしていく体制が多いですからね。かといって私たちクラスになるとある程度の役職についちゃってますから、年齢的には「お兄ちゃん」だし「敷居が高い」ってなっちゃうんですよ。どちらもJCの年齢層とは感性が合いつらいですね。それに、秋田には経済記者クラブがないんです。記者会見とかレクチャーとかやる場所がないんですよ。せっかく県の記者クラブに投げ込んで、県議会の最中だったら「誰か行くか」って言われれば難しい部分があるんです。でも、私たちは赴任期間が短いですからネットワーク構築が必須なんです。懇意になれるならいくらでも！という部分がありますから、うま〜とおつきあいでいただければちょっとしたエサにもバクツツと食いつきますよ（笑）独自色も大事だけれど3本の矢（秋田ブロックや東北地区協議会）はもっと強靱で影響力も大きいですよ。

国安： はあ〜。そこまで考えてリリースを出さなきゃいけないんですね。考えが甘かったです。やり方次第ってことですね。なかなか聞けない話をありがとうございます。

(聞き手) 総務広報委員会委員長 国安 忍

続きは
WEBで!

新春の集いを行いました



2月3日秋田キャッスルホテルにおいて2007年度秋田ブロック協議会「新春の集い」が開催されました。当日は朝から会員会議所会議、アカデミー開校式などが行われ、県内各LOMより216名のメンバーが参加されました。

新春の集いでは、渡部ブロック会長より日本・地区・ブロックの基本方針の説明があり、秋田ブロック協議会内10LOM520余名の方を結集して、元気溢れる「秋田の力」の再生を目指すとの熱い想いを語っていただきました。その後、ブロック役員挨拶、会員会議所理事長の皆様から各LOMの基本方針、事業説明などをしていただき、「2007年度東北青年フォーラムin湯

沢」副主管締結式が行われました。新年祝賀会では各LOMから周年並びにPRがあり、各事業に対する熱い想いが伝わってきました。

新春の集いを終えて、いよいよ07秋田ブロック協議会がスタートしたという気持ちとともに、ブロック事務局長としての責務の大きさを痛感いたしました。今年1年間信頼される裏方として秋田ブロックを支えていく覚悟しております。

55周年運営委員会 委員 古谷昌規
(秋田ブロック協議会 事務局長)



第1回オープン委員会を終えて

去る1月29日、キャッスルホテルにて世代間協働推進委員会オープン委員会1が開催されました。当日はJCメンバーの他に15団体17名の方々にご参加していただき、ありがとうございました。

当委員会でご企画した事業について、知識豊富な地域住民の方々から意見をいただくことにより、幅広い世代が一つにまとまる元気のある事業ができるのではないかと考えたのもと、意見交換会を実施しました。和んだ雰囲気の中、参加者の中には以前から交流のあ



る団体の方もおり、私たちが思いもよらないようなユニークな事業案も出るなど大変有意義な意見交換会となりました。

各団体の皆さんから頂戴した意見を基に、秋に企画される事業に向け形あるものにしていきたいと思っております。

世代間協働推進委員会 副委員長 志摩武史

55周年スローガン決定!

詳しくは
WEBで!

編集後記

55年の絆「あきらRAS KU」を再発見

Real Action with Sincerity, Kindness and Understanding

好評!秋田JC便り(ブログ)、3月の担当は、時田副理事長、長谷川副理事長、松本出向理事、小野事務局長です。お楽しみに!